

爽やかでジューシーな歯ざわりを楽しんで!
新品種「shinanomoto」もぎとり現地交流会
(10月6日)

広報あさひまち

2003年10月号
No.563

特集 / 青少年を取り巻く社会環境を考える

町政スポット / 9月定例議会 ほか

カメラさんぽ / 国民文化祭・やまがた2003

人形劇フェスティバル in 朝日町

まちの話題 / 第24回朝日町ワインまつり・りんごの町の秋まつり

「shinanomoto」もぎとり現地交流会 ほか



地域の子どもたちは地域で守る

連れ去り・声かけ事案の未然防止のために…

●司会 最近、新聞などで子どもの「連れ去り事件」が多く報道されています。新潟県村上市や福島県須賀川市での事件が記憶に新しいところです。事件に至らないまでも、子どもたちが不審な者に声をかけられる「声かけ事案」が山形県内でも多く発生しているようです。朝日町でも今年度に入つてから二件ほど発生しています。こういった事例が身近なところでも発生しうるということを認識しなければなりません。それは、森岡さんから、村山教育事務所で把握している「声かけ事案」などについてご報告いただければと思います。

●森岡 今年の四月以降、村山教育事務所管内で19件（小中学生が被害に遭うケース）の声かけ事案が発生しています。これは、例年一桁という数ですので、上半期のこの時期でこの数字は多いと感じています。すれ違いざまにお尻を触られたとか、自転車で下校途中に歩いてきた男の人から「こっちへこい！」と声をかけられたので、とっさに逃げてきたという事例などです。

しかしこの数字が、実際に増えているということを断言することはできません。地域社会全体に「声かけ事案」に対する危機意識が高まれば高まるほど子どもが親に報告し、親が学校に報告します。そういったことから、単純に前年度と比較して発生件数が多くなったと一概にはいえないのですが、少なくとも地域社会全体に危機意識が高まつて



村山教育事務所指導課
青少年指導専門員
森岡美貴子さん

●白田 わたしは、区長という役職から、子どもたちと接する機会があり思っていることは、たいへん素直な子どもたちだなということです。あまりに素直すぎて、声をかけられれば簡単に付いて行つてしまふのではないかとう心配があります。

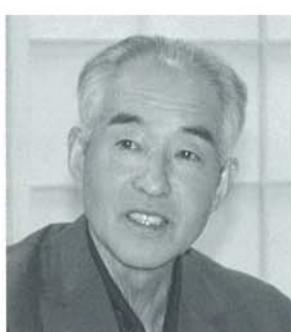
危険箇所としては、国道のバイパス工事で、道路が高いところに敷設されたことによる「人道函渠（トンネル）」付近です。また、その近くに水上神社（龍神池）がありますが、なかなか人の目の届かないところです。どちら六時頃までの夕刻が圧倒的に多いというデータがあります。また、部活動などで帰りが遅く

●司会 「声かけ事案」の発生する時間帯は、約九割が明るいうちということですが、夜暗くて危ないところといえばイコール民家がないところです。人目の届かない範囲という観点から



司会
朝日町校長
和合小学校長
長岡信悦さん

も、親に報告し、親が学校に報告します。そういったことから、単純に前年度と比較して発生件数が多くなったと一概にはいえないのですが、少なくとも地域社会全体に危機意識が高まつて



宿（和合連合区）
区長 白田誠一さん
【和合小学校区代表】

青少年たちが巻き込まれる事件が、近頃多く発生しています。記憶に新しい「大阪府池田市の校内児童殺傷事件」をはじめ、ここ数ヶ月の間にも青森・宮城・福島・新潟・東京・大阪・福岡など、全国に衝撃が走る悪質な事件が連鎖的に発生している状況にあります。

他人事に思われがちなこれらの事件。しかし、決してそうではないことを再認識する必要があります。昨年から今年にかけて、不審者に声をかけられ連れ去られそうになったという事例が、朝日町でも数件報告されています。

今月の特集では、これらの悪質な犯罪（ここでは特に「連れ去り事件」や「声かけ事案」など、青少年が巻き込まれる大人の犯罪に限定）から、地域の子どもたちを守るために必要な対応策や、子どもたちを取り巻く地域社会の役割などについて語っていただきます。

は日中であっても安全な場所とは言えないわけです。そういう場所については、夜であれば防犯灯の設置などの対応策が考えられます。しかし、日中に閑しては防犯灯も意味がありません。そういう場合の具体的な対応策を検討していくことが最優先の課題かと思います。

なる中学生の通学路に関しても、四ノ沢から和合にかけての国道にもっと防犯灯があつてもいいのではないかでしようか。

●司会 母親の立場から、成原さんに日頃感じていることをお話しいただきたいと思います。

あいさつ運動で子どもたちに安心感



宮宿小学校前母親委員長
成原早弓利さん(前田沢)
【宮宿小学校区代表】

●成原 宮宿小学校では「あいさつ運動」が盛んで、登校時、父兄たちが通学路に立つて子どもたちに声をかけたりしています。あいさつ運動で思い出すのが、「都会では、知らない人に声をかけないこと」と指導しているので、あいさつ運動を素直に受け止められない」という、転勤でこの町に住んでいた方の話です。田舎だからこそできる運動なのかなとしみじみ感じたところです。このあいさつ運動が地域社会と地域の子どもたちの心をつなぐ架け橋になつてすることは確かなことだと思いま

す。地域が子どもたちに目配りする習慣にもなりますし、子どもたちも周囲から守られているという安心感を得ているのではないでしようか。

危険箇所としては、緑ヶ丘公園や創遊館、町民武道館の裏などの人気のない暗がりが多いところが気になります。通学路に関する、小学生には決まった通学路がありますが、中高生の場合、夜遅くに町民ブールから西原工業団地までの道路を帰る生徒たちが心配です。付近に民家がないから設置しないということはないから設置しないということではなく、子どもたちが登下校する道路には防犯灯の設置を切に要望したいものです。

宮宿小は、今年から学区も広くなり、遠いところはスクールバスを利用している生徒も多くいます。家からバス乗り場までそんなに離れている生徒はいないと思いますが、少し心配なところですね。

突然の声かけについ車に乗ってしまう

●佐竹 わたしは、町の青少年育成推進員や指導センターの指導員という立場で、主に青少年の健全育成を図る活動をしています。

今年度、村山管内で「声かけ事案」が19件あったということを、町民の大半の皆さんには知らないと思います。常にこういった情報を地域にお知らせする

事案」が19件あったということを、町民の大半の皆さんには知らないと思います。常にこういった情報を地域にお知らせする

とが大切だと思います。

西五百川小学校区内においても、通学路で民家がとざれるところがあります。そんな中で、例えば「お母さんが病院に運ばれたから…」などと声をかけられた子どもたちは疑いもせずに車に乗つてしまふのではないか

でしょうか。乗つてしまつてから「あつ！ しまつた。」と思うケー

スがほとんどだと思います。子どもたちに目を配り地域社会全

体が、常に危機意識を持ち続け

ること、それがこれらの事案か

ら子どもたちを守る方策なので

はないでしょうか。

実地体験をもとに誘拐被害防止訓練を

●司会 子どもたちは声をかけられたら付いて行つてしまうのではないかという指摘がありましたが、実際にその場に遭遇する子どもたち自身の対応策について、森岡さんはどのようにお

考えでしよう。

平成十五年九月に発生した全国の子ども連れ去り事件

■	2日	新潟県	15歳(保護)
■	5日	茨城県	11歳(未遂)
■	8日	大阪府	13歳(未遂)
■	11日	宮城県	15歳(未遂)
■	14日	宮城県	10歳(未遂)
■	17日	福島県	11歳(保護)
■	18日	福島県	14歳(未遂)
■	19日	新潟県	8歳(保護)
■	20日	茨城県	14歳(未遂)
■	21日	福島県	13歳(未遂)
■	22日	青森県	14歳(未遂)
■	23日	福島県	14歳(未遂)
■	24日	福島県	14歳(未遂)
■	25日	福島県	14歳(未遂)
■	26日	大阪府	9歳(未遂)
■	27日	大阪府	7歳(未遂)
■	28日	福島県	13歳(未遂)
■	29日	静岡県	10歳(保護)
■	30日	山形県	9歳(未遂)

例があり、同じよう試してみるとやはり乗つてくる子がいるのですよ。お菓子を買つてあげるから」というパターンについては子どもたちも「誘拐犯だ!」と思えるよう、ひつかかる子どもたちは少ないようです。ですから、誘いの言葉もいろいろあるので、実地で体験させることが必要なのではないでしよう。

また、腕を捕まれたときは捕まれた腕を思い切つ振り回して手をはずす方法もあります。逃げる方向に関しても、車の進行方向に逃げていってはすぐに追いかけられてしまうので、車の後ろの方に逃げること等、こいつたことは、実際にやつてみないと子どもたちには理解できないと思います。

●佐竹 小学校の学年行事のテーマが、「交通安全」になります。などありますが、「誘拐防止訓練」を実施したことがなかつたと思います。是非学年行事に取り入れたいと思いました。



防犯連絡員
遠藤邦昭さん(舟渡)
【大谷小学校】

●成原 やはり「交通安全教室」と「避難訓練」は実施するようですが、「誘拐被害防止訓練」は全くしていないし、一回でも実施すればそれなりの効果があると思いますね。

●司会

学校の現場においても

取り組んでいかなければならぬことを感じたところです。先ほど佐竹さんからお話しのありました保護者と一緒の学年行事で取り組む方法もあるし、各地区の子ども会あたりでも対応が可能かと思います。

●成原 そうですね。こういった事案が身近にあるとわかつても、学年行事や子ども会では、例年にならつた事業計画を組んでしまいますが、ちらりと自分で、そういう訓練があることと自体わかりませんでした。でも、この辺はまだ大丈夫という意識があつて、危機感が沸いてこなかつたというが本音でしょうね。

いろいろあるので、実地で体験させることが必要なのではないでしよう。

また、腕を捕まれたときは捕まれた腕を思い切つ振り回して手をはずす方法もあります。逃げる方向に関しても、車の進行方向に逃げていってはすぐに追いかけられてしまうので、車の後ろの方に逃げること等、こいつたことは、実際にやつてみないと子どもたちは理解できないと思います。

子どもに関する情報を地域全体で共有する

●遠藤 わたしは、防犯連絡員をしています。活動内容は、子どもたちというよりむしろ地域

●佐竹 小学校の学年行事のテーマが、「交通安全」になります。などありますが、「誘拐防止訓練」を実施したことがなかつたと思います。是非学年行事に取り入れたいと思いました。

●成原 やはり「交通安全教室」と「避難訓練」は実施するようですが、「誘拐被害防止訓練」は全くしていないし、一回でも実施すればそれなりの効果があると思いますね。

の防犯活動が主になつております。どちらかというと子どもに関する情報が少ないところが問題かなと思いました。情報が少ななければ関心も薄れ、活動自体に子どもの安全・防犯に関する内容が取り組まれることはありません。そういったことで、これらが「声かけ事案」に認識不足なところがありたいへん申し訳なくも思っています。

大谷小学区内における危険箇所については、やはり集落間の民家が途切れる区間がありますので、防犯灯の設置をお願いしたいと思います。特に、下校の際、地域に子どもが一人しかいないというケースもあり、対応が難しいところもあるうかと思いますが、極力一人ではなく複数の人数で帰る指導などを学校にもお願いしたいものです。

●司会 防犯関係の皆さんに子どもに関する情報が伝わっていないというお話しでしたが、我々も反省しなければならないことだと感じたところです。町の中で「声かけ事案」などが発生したりすると、教育委員会をとおして全校に連絡が入ることになつています。その場合、保護者への連絡と子どもたちへの指導のみで終わってしまうところ

●森岡 先日、東根市内で声かけ事案が発生しましたが、警察によるパトロールに併せて地元の防犯協会の皆さんのが、発生現場のパトロールを実施したといふ自主的な取り組み事例があります。「不審者がいます!」と「不審者がいます!」という看板なども作製し注意を呼びかけようという話にもなっています。

また、ある地区では、防犯協会でお金を出し合ってホイップルを購入し、学区内の全児童のランドセルに下げてもらい、危ない目に遭いそうな時には、そのホイップルを思い切つて鳴らしてもらうなどという事例もあります。

こういったボランティア活動のもう一つの例が「こども一一〇番」です。常時留守にならぬような家にお願いして、「子どもが飛び込んできたら一一〇番」です。

このステッカーの掲示が多い地域では、通学路を歩くときに地域から守られているという安心感を子どもたちに植え付けられるし、また、実際に不審者が出没した際に、所々にこのステッカーが貼られていることによって、こ

の場所は地域ぐるみで子どもたちを守ろうと取り組んでいる所だということが伝わり、その不審者は他のところに箇所を移すかもしれません。積極的に取り組めば、不審者に対する警告にもつながる効果の高い対策といえるでしょう。



こども110番連絡所のカモンくん

「こども110番」の設置とその効果

「こども110番」が設置されている所には、カモン君のステッカーが路上からも見えるところに貼られています。特に、学校の通学路に指定されている道路に接する商店などに設置されている場合が多いです。町内の理容組合に加盟する全店にも設置されて

います。

このステッカーの掲示が多い地域では、通学路を歩くときに地域から守られているという安心感を子どもたちに植え付けられるし、また、実際に不審者が出没した際に、所々にこのステッカーが貼られていることによって、こ

の場所は地域ぐるみで子どもたちを守ろうと取り組んでいる所だということが伝わり、その不審者は他のところに箇所を移すかもしれません。積極的に取り組めば、不審者に対する警告にもつながる効果の高い対策といえるでしょう。



子どもたちには不安のない安全な地域社会でのびのびと成長してほしい

番してください」とか、「子どもが泣いていたらもう大丈夫だからと声をかけてあげてください」などとお願いしています。寒河江署管内にも理容店を中心約五百件ほどの「こども一一〇番」が設置されていますので、有事の際はこちらの活用なども有効かと思います。ただ、現代の子どもたちは遠慮がちなところがあり、有事の際であってもなかなか駆け込めない状況も想定されます。「こども一一〇番」に「駆け込む訓練」も必要かと思われます。

また、設置数にしても、地域によって大きな差があります。

●司会 「こども一一〇番」の設置につきましては、学校と防犯関係の方々の双方で連携しながら、新たな設置箇所等について検討していく必要があるようです。日中でも確実に誰かがいるところに「こども一一〇番」をお願いしておく必要性を強く感じたところです。

ところで、学校の方から家庭の方に「声かけ事案」がありましたというチラシなどの配布があった場合、成原さんは子どもたちと話し合う機会などを持つたりしていますか。

●成原 通知をもらえば、「こんな時どうする?」などと

もが泣いていたらもう大丈夫だからと声をかけてあげてください」などとお願いしています。寒河江署管内にも理容店を中心約五百件ほどの「こども一一〇番」が設置されていますので、有事の際はこちらの活用なども有効かと思います。ただ、現代の子どもたちは遠慮がちなところがあり、有事の際であってもなかなか駆け込めない状況も想定されます。「こども一一〇番」に「駆け込む訓練」も必要かと思われます。

また、設置数にしても、地域によって大きな差があります。

●司会 「こども一一〇番」の設置につきましては、学校と防犯関係の方々の双方で連携しながら、新たな設置箇所等について検討していく必要があるようです。日中でも確実に誰かがいるところに「こども一一〇番」をお願いしておく必要性を強く感じたところです。

ところで、学校の方から家庭の方に「声かけ事案」がありましたというチラシなどの配布があった場合、成原さんは子どもたちと話し合う機会などを持つたりしていますか。

●成原 通知をもらえば、「こ

話しをお互いにするようになります。子どもたちも関心を持つて積極的に会話してくれます。加えて、日頃からアンテナを高くし自ら情報を得ようとする姿勢も、犯罪の未然防止につながるものと思います。

宮宿小学校では月に二回、学校通信が全戸に配布されますので、子どもたちの最近の状況などに加えて、随時こんなことがありましたという情報を持載していました。そうすれば、子どもたちを見守る地域の人たちの考え方も少しずつ変わってくるのではないかと思います。そうすれば、子どもたちが安心して遊べる「児童館」や「学童保育の施設」が必要になってくると思います。

「こども110番」連絡所を設置



山形県理容生活衛生同業組合
寒河江西村山支部

支部長 布施邦芳さん
(大町)

子どもたちを誘拐事件や事故などから守る地域のとりでになればと、寒河江西村山1市4町の理容店が「こども110番連絡所」を設置したのが3年前。誰もが立ち寄りやすい雰囲気をつくり、被害の未然防止に役立ていただければと思います。町内全域で19のお店(7ページ参照)に「カモン君とチョキちゃん(写真上)」の看板が掲げてあります。是非一度、あそさんとご確認ください。

絶対安全と言い切れないこの時代に、地域の子は地域で守る!そんな思いが少しずつでも広がつていけば、子どもたちも心強く思うでしょう。

また、区長は防犯関係の役員にもなっているわけで、佐竹さんたちが行っている指導センターの街頭指導の他に、各地区毎にもっと定期的に自発的な巡回などをやっていくことも必要なことだと感じました。

●遠藤 防犯の役割というのは、年に二回実施する防犯診断（夜間の盗難防止や車上荒らしを予防するための啓発活動）が主となっています。会議の中でも子どもたちに聞することが話題にならないのが実状です。ところが、事件が起きると初めて、地域と行政側が手を合わせてパトロールしていくましようなどという話しになります。幸いにして事件になつていないので、胸をなで下ろす思いですが、白田さんから言われたとおり、子どもたちをいかにして守っていく必要があると感じました。これからは真剣に取り上げていくばと思います。

まずは出来ることから行動に移すこと

●司会 白田さんから話しがあつたとおり、「ここは安全な場所

ですよ」というところが地域内にあれば、子どもたちにとってはとても心強いことだと思います。また、危険な場所と安全な場所を子どもたちが認識していることも大事なことだと思います。

●森岡 「安全マップ」などを作つて全戸配布することも一つの方法かなと思います。例えば、声かけ事案だけではなくとも、川が流れいて落ちたら危ないとか、交通面のことを考えれば、ここはたいへんな急カーブで車が走つてくると巻き込まれてしまう可能性が高いとか、お父さんお母さん方が集まって話しをすればいろんな箇所が見えてきます。それをマップ化するわけです。その中に、「こども一〇番」の場所も明記して、そのマップを子どもたちに見せながらそれを囲んで家族みんなで話し合う。そんな活動がいいのではないかと思う。

このように、子どもたちもこれまで表に出てこなかつたことを認めざるを得ませんね。これからは真剣に取り上げていく必要がありますと感じました。これからは地域の防犯の役割がこれまで表に出てこなかつたことが、という分野の防犯の役割がこれまで表に出てこなかつたことを認めざるを得ませんね。こ

は後でついてくるものです。「誘拐被害防止訓練」にしても、「安全マップ」にしても、まずはやつてみることです。直接自分の子どもたちがいる人たちが行動していかなければならぬことだと思います。区長さん方からはこれらのことの重要性をきちんと認識していただけます。子どもも会育成会をリードしていくような方策をお願いしたいと思います。

学校や行政における対応策にしても同じように、子ども会育成会を中心にして事を進めていくことが最良の策かと思います。育成員の研修が年に一回あります。が、こういった内容の事業への取り組みも考えられるし、子どもたちの命を守るという観点での研修が必要なのではないでしょうか。

かけがえのない命 守ってくれる人も必要

●成原 昨年度、西村山地区の母親委員会に参加した時、「命を守る」ということが題材になりました。世界に一つしかな

らないものである、といふ内容でした。地域の子どもたちは地域で守る。今回の座談会のテーマにとても合致した内容だつたと思います。誰もが必要とされてこの世に生を受けたわけですし、このかけがえのない命の大切さを子ども自身に理解してもらうことも大切です。が、今の時代、誰かわからない人から命を狙われる哀しい時代です。こういった犯罪から子どもたちを守つていけるのは、その子たちの健全な成長を応援してくれる地域の人々しかいません。ですから、地域の方々にはこれまで以上に子どもたちに目を向けてほしいと願っています。

●遠藤 地域の子どもたちに目を配る必要性は十分理解できましたが、例えばその際の声のかけ方に戸惑いを感じてしまふことが多いもあります。子どもたちへの家庭での指導が徹底しているせいもあるのか、今の子どもたちの警戒心がたいへん強いようですが、やはり会うたびに「おはよう」とか「こんにちは」といふ言葉は、自分で守らなければなりません。警戒心をへんに助長させて

しまう可能性もあるからです。ちょっとと声をかけるのも、昔とちがつて難しくなってきたなど感じているこの頃です。

●森岡 警戒心が強い方がいいという時代にかわってきているんですね。そういう点からすれば、今の子どもたちは、ある意味でたいへんかわいそうに感じてしまいます。

●佐竹 前から感じていたことですが、やはり会うたびに「おはよう」とか「こんにちは」とか、あいさつで日頃から声をかけておくことの大切さが、ここにあるのではないかと思います。



地域の子は地域で守っていくことを誓い合った座談会

こども110番連絡所一覧 ご家族みんなでご確認ください。

■中部地区

区分	No	店名	代表者氏名	集落名	連絡先
理容組合 加盟店	1	布施理容室	布施邦芳	大町	67-2649
	2	ナカツネ理容所	安藤マサエ	本町	67-2184
	3	まつだや理容所	村山幸子	宇津野	67-2627
	4	村山理容室	村山うめよ	栄町	67-3752
	5	バーバーゆき理容所	朽木幸江	栄町	67-3360
	6	理容若草	布施美代子	西町	67-2423
	7	佐藤理容所	佐藤美喜子	本町	67-2240
	8	理容室せいの	清野はまえ	新宿	67-3798
	9	長岡理容所	長岡さき子	大町	67-2026
	10	菅井理容所	菅井待子	前田沢	67-7424
	11	佐藤理容所	佐藤陽子	宿	67-2518
	12	貞神理容所	貞神好子	宿	67-2746
	13	熊谷理容所	熊谷和子	四ノ沢	67-3216
協助員	14	少年補導協助員	藤原光雄	本町	67-2075
	15	少年補導協助員	松尾亮藏	松原	67-2098
	16	少年補導協助員	佐藤正道	宿	67-2232
	17	少年補導協助員	阿部勝男	西町	67-2341

■西部地区

区分	No	店名	代表者氏名	集落名	連絡先
理容組合 加盟店	1	鈴木理容所	鈴木みや子	松程	67-3233
	2	長岡理容所	長岡昭子	松程	67-2474
協助員	3	少年補導協助員	阿部富子	松程	67-3453

■北部地区

区分	No	店名	代表者氏名	集落名	連絡先
理容組合 加盟店	1	鈴木理容所	鈴木均	大谷一	68-2127
	2	丸八理容所	長岡美江子	大谷五	68-2015
	3	ヘアブティックマサコ	犬飼昌子	真中	68-2355
	4	ファミリーサロンキャット	長岡美智子	栗木沢	68-2130
その他の 店舗	5	松田魚店	松田吟子	大谷四	68-2118
	6	白田製材所	白田進	大谷六	68-2030
	7	五十嵐農機店	五十嵐昭治	栗木沢	68-2515
	8	J A 大谷給油所	長岡悟	栗木沢	68-2100
	9	遠藤商店	遠藤清蔵	真中	68-2307
協助員	10	少年補導協助員	菊地洋一	大谷一	68-2205

はり蚊帳の外の出来事にしか捉えられないというのが現状かと思います。そういう人たちに、いかにして出来事を把握してもらい危機感を持つてもらうかが大きな課題といえます。そういう意味では、公民館活動の中で区長さんからその都度啓発を図っていただくこと必要かと思います。

●森岡 地域の子どもたちは地域で守ることの必要性の前に、子どもたちに地域の人の顔をまず覚えてもらうことが重要なことのようですね。そういうしたことか

うすることによって、お互の間に何でも話せる信頼感が生まれてくるのではないかと三回くらい声をかけると必ず返してくれるようになります。

学校と地域そして家庭 常に連携し合う姿勢を

●遠藤 事件は起きてしまってからでは遅いので、こういった

学校と地域が常に連携し合うこと、それが大切なことです。ただ、情報があまりにも多すぎで、注意を呼びかけるチラシを配布したとしてもお知らせ板などに掲載し啓発を図ろうとしても、関係する役職に就いている人などはよく目を通すでしょうが、無関心な人にとつてはや

事案を未然に防止するために、学校と地域が常に連携し合うこと、これが大切なことです。た形で発信してほしいと思います。たしかに、学校側でも前向きに対応していくことで、地域が密に連携した中で、まずは一步踏み込んだ具体的な行動を起こしてみることが、最も重要なことなんでしょうね。

●森岡 子どもたちが「またか」と思つても、親は折に触れ、学校の先生方も折に触れ、繰り返し繰り返し「もう聞き飽きた」なんて言わせないくらい言い聞かせることが大切です。変なおじさんから声をかけられたら、「すぐに逃げなさい」とか「親に言いなさい」とか。「一人で遊ばないよう」とか、「暗くな

う場をぜひ設けていただきたいと思います。

●司会 この座談会をとおして考えさせられた点などもあるかと思います。それを、それぞれの組織に持ち帰っていただきながら、一步踏み込んだ見える活動をぜひお願いしたいと思います。本日はありがとうございました。

警察庁では、子ども防犯用のテキストとして「みんなで気をつけようね」を発行しています。

子どもが被害者になりやすい犯罪の種類や被害にあう時の特徴、そしてその対応策並びに日頃からの防犯指導・防犯対策についてのマニュアルが詳しく紹介されています。なお、このデータは、インターネットでもご覧いただけます。是非一度アクセスしていただき、お子さんと一緒にご確認いただければと思います。

URL. <http://www.npa.go.jp/>

「生活安全の確保」コーナーを開いてください。



定例議会

9月定例議会が10日から8日間の日程で開かれ、国・県・町間のネットワーク化に係る経費など、歳入歳出それぞれに6,280万円を追加、平成15年度予算総額45億6,820万円とする一般会計補正予算など17議案が審議、可決されました。議案の採決事項は次のとおりです。

- ①朝日町教育委員会委員長岡一美氏（前田沢）を再任。【同意】
- ②平成十五年度朝日町一般会計補正予算について、歳入歳出それぞれに六千一百八十万円を追加し、予算総額四十五億六千八百二十万円とする。【原案可決】
- ③平成十五年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算について、歳入歳出それぞれに八千万円を追加し、予算総額九億四千三百万円とする。【原案可決】
- ④平成十五年度朝日町老人保健特別会計補正予算について、歳入歳出それぞれに一千百五十万円を追加し、予算総額十一億六千五百十万元とする。【原案可決】
- ⑤平成十五年度朝日町介護保険特別会計補正予算について、歳入歳出それぞれに四百三十七万円を追加し、予算総額六億四千四百七十七万円とする。【原案可決】
- ⑥平成十五年度朝日町水道事業会計補正予算について、収益的收入支出それぞれに二百五十万円を追加し、予算総額一億七千九百五十万円とする。資本的収入に二百十万元を追加し予算総額一億九千百万元に、同支出に一千九百万円を追加し予算総額一億五百万円とする。【原案可決】
- ⑦一般会計決算
- ⑧集落排水事業特別会計決算
- ⑨国民健康保険特別会計決算
- ⑩老人保健特別会計決算
- ⑪住宅団地造成事業特別会計決算
- ⑫介護保険特別会計決算
- ⑬病院事業会計決算
- ⑭水道事業会計決算
- ⑮公職選挙法の一部改正に伴う朝日町特別職に属する者の給与に関する条例の制定【原案可決】
- ⑯今平ふれあい交流センターの建設に伴う朝日町介護予防拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定【原案可決】
- ⑰朝日町消防団の実員数の減少に伴う朝日町消防団条例の一部を改正する条例の制定【原案可決】
- ⑲税務町民課
- ⑳農林課
- ㉑建設課

町政報告

▼総務課 去る七月二十七日に逝去なされた、朝日町名譽町民であり前朝日町長の小林富蔵殿の葬儀については、議会のご可決をいたしました。

▼健康福祉課 介護保険関係については、七月末現在の要介護認定者数は、第一号被保険者三百九十四人、第二号被保険者七人、合計四百一人となつており、昨年同期と比較し三十二人、八・七%の大幅な増加となっています。また、今年度から開始になつた障害者支援制度の決定者数は、四十一人となつています。

平成十五年度の地方交付税ですが、普通交付税については二十一億九千五百四万三千円となり、八百六十三万五千円の減となつています。では、六月十六日に首長会議が開催され、任意合併協議会の設立について協議が成立、七月一日付けで七人の委員による寒河江市、西川町、朝日町任意合併協議会が発足しました。合併を想定しての協定26項目について会議が開催されています。六月十二日には、十七人の町職員による朝日町自立調査研究会を設置しました。任意合併協議会と並行して、自立の道について調査検討を行なつて、自立の道に沿って万全を期したい考えです。

▼税務町民課 町税等の口座振替について、事前に町報等で全町民に周知を図り、八月下旬には口座振替申し込みの取りまとめを納稅貯蓄組合に依頼しているところです。平成十六年度からの実施に向けて万全を期したい考えです。

▼農林課 六月下旬から続く低温・日照不足等の不順な気象動向を踏まえ八月二十一日、町長を本部長とする朝日町農作物異常気象対策本部を設置しました。

水稻については、不穏による減収が予想される地域も多く、被害の程度について今後とも調査を行う予定です。りんごについては、八月二十日頃から収穫がはじまりましたが、果肉が先行して熟度が進んだため、早めの収穫を促しているところです。



町立病院に櫻井文明医師着任

「朝日町は静かでたいへんきれいな町ですね」と第一印象を語ってくれた櫻井先生。

先生は鶴岡市出身で、これまで山形大学医学部第一外科で消化器外科医として5年間活躍されてきました。非常勤で週に何回か町立病院に勤務していましたが、今回の派遣人事により、町立病院に勤務されることになったものです。

野球を中心としたスポーツ観戦が趣味という櫻井先生。「蜂刺されやマムシに注意!」と町民に呼びかけながら、患者さんとは真から積極的に触れあっていきたいと抱負を語ってくれました。

その櫻井先生からひとこと…。

「野良猫が家のベランダに4匹の子猫を生みました。内3匹は里親が見つかったものの1匹はまだ家にいます。ほしい方がいらっしゃれば、どうぞ声をかけてください。」



町道東平線(立木地内)開通

区民待望の町道東平線(仮称)が完成し9月20日、工事関係者ら50人余りが参列し、現地で竣工式並びに交通安全祈願祭が行われました。

本路線は、町道立木中央線を起点に光源寺付近の農道を終点にした地区民の生活道路。これまで、急勾配である上に幅員が狭く地区民にとって不便をきたしており、工事の早期着工が望まれていました。

工事の概要は、町道立木中央線との取付箇所における勾配調整のための工事を含めた総延長171.4m、幅員5m、用地費等を合わせた総事業費は3,200万円。今年5月から工事が始まり、このたび開通となつたものです。

「これまでお寺まで歩いて行くにも急な登り坂で大変でしたが、これからは近くまで車で行けるようになります。とてもうれしいです」と区民の表情は喜びに満ちあふれていました。



宝くじ助成で大町に広場を整備

大町区(成原茂区長)が、平成15年度コミュニティ助成事業(宝くじ助成)を受けて、同区中郷団地内に広場を整備しました。

これは、自治活動の更なる活性化を目指し整備されたもので、地区民の憩いの場やコミュニティ活動の拠点として利活用されます。

成原区長は「このたびの広場整備は地区民の長年の懸案でした。これで気軽に快適な活動ができる、区民の心の拠り所ができました」と喜びを語ってくれました。

数については、高校生一人、短大生二人、専門学生一人から提出があり、五人全員に貸与することを決定、七月十日付けで二期分(四ヶ月)を一括して貸与したところです。

▼生涯学習課

各関係機関、団体の協力をいただき七月二十二日、朝日町青少年健全育成町民大会を開催しました。大会スローガン「大人の意識改革!あいさつは大人から」を実践し、あらゆる場において声かけ運動を展開することを宣言して終了したところです。

▼管理課

奨学金貸与申し込み件新事業は、工期が十月三十一日まで現在施工中です。

▼水道事業所

宮宿地区老朽管更新事業は、工期が十月三十一日まで現在施工中です。

薬の院外処方については、患者さんへのサービスの向上と病院の経営改善につながるとの結論に達し、十六年度から開始したいと考えています。

阿部洋一(企画課長)
浦山雅弘(町立病院副院長)

鈴木高敏(文書研修係長)
〔退職〕
新規採用

●主査兼文書研修係長
副院長/櫻井文明

企画課長補佐
〔企画課長補佐〕

人事異動





夢と感動の2日間…ありがとう



まちの話題

①第24回朝日町ワインまつり



芳醇なワインの香りに酔いしれた一日

爽やかな秋晴れとなった9月23日、第24回朝日町ワインまつりが上郷ダム公園を会場に盛大に行われました。当日券も早々と完売、午前11時30分の開場を前に、入場ゲート前や輸送のシャトルバスを待つ列にも早い時間帯から長い列ができていました。毎年恒例のこととはいえ、全国的に国産ワインの消費量が伸び悩んでいる時に、朝日町ワインの根強い人気を物語っていると言えそうです。

朝日町ワインが飲み放題のほか焼き肉の食べ放題、特設コーナーでは、牛の丸焼きやダチョウのスープなどが振る舞われました。

会場を埋め尽くした参加者は総勢1,500人。ワインカラーの衣装に身を包んだ初々しい5人のワイン娘について勧められ早々から出来上がっている人や、心ゆくまで芳醇なワインの香りを楽しんでいる人など様々。

この日に準備されたワインは1,500リットル、牛肉は450キロ。これら全てが、参加者のお腹だけでなく心まで満杯にしてくれたようです。

来年も、早めに前売り券をお買い求めの上、みなさんご参加ください。

②100歳を祝い内閣総理大臣より賀詞



元気の秘訣は毎日元気に歌うこと

9月19日、満100歳の長寿をお祝いする賀詞と記念品の銀杯が、内閣総理大臣より佐藤ちゅうさん(本町; 明治36年12月21日生)に贈られました。

佐藤さんに元気の秘訣について訪ねたところ、「毎日元気に声を出し

ること」と話し、「寿」の文字が刻まれた銀杯を胸にして、得意の『名古屋城の歌』を披露してくれました。

ふれあい荘には今日も、「見たかア～、聞いたかア～、名古屋の城が…」の歌声が響いています。

③秋の交通安全運動 寒河江地区交通安全協会青年部



人波看板で交通安全の呼びかけ

9月21日から30日までの10日間、秋の交通安全県民運動が展開され、寒河江市のチエリーランド前では21日、寒河江地区交通安全協会青年部が人波看板作戦並びにチラシの配布を行い、ドライバーへの交通安全を呼びかけました。

町内3支部(宮宿・西五百川・大谷)から5人が参加。蛍光色で眩しい黄色のユニホームを身にまとい、一人1文字の看板を手に、走ってくる車に安全運転をアピール。

交通事故の撲滅のために、青年部は地道な活動を展開していきます。

⑥葡萄収穫体験交流会



成人式の記念品にワイン

朝日中第3学年の親子行事で「葡萄収穫体験交流会」が10月5日、ワイン城に隣接する葡萄畠で開催されました。これは、同学年行事として昨年度に引き続き実施されたものです。

今回収穫されたのは、フランス産赤ワインの原料となる「カベルネ ソーヴニヨン」という種類の葡萄。参加した107人の生徒とその親たちは、約30アールの畠にたわわに実った葡萄を手にしながら、一房一房に優しく収穫ばさみを入れていました。

今回収穫された葡萄は、生徒たちが5年後に迎える成人式の記念品「オリジナルラベル入りの赤ワイン」として贈られることになります。5年先まで楽しみになるこの行事。ワインの町の伝統行事になってほしいものです。



④アニータ先生の英会話教室

ニュージーランド

NZL家庭料理「ラザニア」に挑戦

月に2回、初級と中級の2コースで行われているアニータ先生の英会話教室。

今回は、教室を調理室に移動して、アニータ先生のふる里「ニュージーランド」の家庭料理『ラザニア』を教えていただきました。

普段はあまり台所に立つことのない男性たちも、エプロンを身に付けぎこちない手つきで料理や洗い物に参加。ひき肉とチーズをたっぷりと使って、こんがりと焼き上がったラザニアと、アニータ先生お手製のサラダやフルーツデザート、ニュージーランドのおいしいワインがテーブルに並び、とても賑やかな授業となりました。



⑤アイジーアイ工業(株)に紺綬褒章

朝日町に1,000万円の寄付

町内に工場を置くアイジーアイ工業株式会社（金田直治社長）が、このたび内閣総理大臣から「紺綬褒章」を受章し、東根の本社で9月29日、金田社長と石川 基会長へ清野朝日町長から伝達されました。

この受章は、昨年町に対して1,000万円の寄付をしていただいた功績に対して贈られたものです。席上、金田社長より「今後とも地域に根ざした企業として、朝日町発展に寄与していく」との言葉が述べられました。



⑦葡萄の木オーナーワイン制度2003「収穫祭」



収穫後のワインは格別！

葡萄の木オーナーワイン制度2003「収穫祭」が10月4日、秋風の爽やかなワイン城で開催され、126人のオーナーとその家族など約320人が葡萄の収穫を行いました。今年で10年目を迎えるこの制度。女優の小林綾子さんを初め、遠くは熊本県のオーナーら合わせて今年は270人の申し込みがあったということです。

和合小の児童による躍動感あふれる「和合太鼓」での歓迎セレモニーに始まり、収穫畠で一汗かいた後、山形牛や名物の芋煮に舌鼓をうちました。

途中、にわか雨にみまわれましたが、朝日町ワインのファンたちは、収穫した葡萄が味わい深い自分だけのワインになることを願い、グラスを傾けていました。

⑧りんごの町の秋まつり



夏まつりから秋まつりへ 日本最大級の熱気球に長蛇の列

「朝日町がりんごの香り一色に包まれる収穫の時期に開催してみたい」ということで、これまで7年続いている夏まつりをこの時期に変更して開催することになった「りんごの町の秋まつり」が9月21日、町民体育館と緑ヶ丘公園を会場に賑やかに行われました。折しも台風15号の接近で、前日の準備には影響したものの、まつりの当日は天候も終始我慢してくれた様子。特に、緑ヶ丘公園を会場に行われた熱気球のイベントには長蛇の列ができました。

国内でも最大級の熱気球。通常で上空30メートルまで上昇する気球でしたが、あいにくの小雨日和による水滴の重みで高度を20メートルまで下げて実施。300人

を超える人が約5分程度の遊覧飛行を楽しみました。激しいバーナーの音に驚きながらも、ゆっくりと静かに上昇する気球に、子どもたちのみならず大人までもが興奮気味の様子でした。

町民体育館では、町内外から出店された33店舗のフリーマーケットの他、宮宿小学校による「豊年太鼓」、西五百川小学校「さくらバンド」による鼓隊の演奏、シンガーソング・ライター丹波恵子さんとあめつかぜの松田昌弘さんによる「さわやかりんごミニコンサート」、民舞鶴見会ほか踊りの愛好会による「男花笠」「りんご囃子」などが会場を盛り上げていました。

実行委員の皆さん、たいへんご苦労様でした。

⑩朝日中吹奏楽部定期演奏会



次代へ引き継ぐ思いを胸に

今年で7回目を迎える朝日中学校吹奏楽部の定期演奏会(ミニコンサート)が9月21日、創遊館ホールで行われ、詰めかけた観客を魅了するすばらしい演奏が披露されました。

「一人ひとりがそれぞれのパートをしっかりとこなしていましたし、全体的にもしっかり音が出ていて、演奏にまとまりがありました」と感想を述べたのは、昨年度に同部の部長を務めていた大類淳子さん(西船渡・山形西高1年)。野球部でこの春現役を引退した3年の安藤文紀さん(松原)は、「演奏中の一人ひとりの気持ちがすごく伝わってきたし、特に3年生だけによる『さくら』が演奏された時は、背中がゾクゾクとするくらい感動しました。これまでどうもありがとうございました」と感謝の意を表していました。

⑨町小学校芸術鑑賞教室



心に栄養をありがとう

町小学校芸術鑑賞教室が9月12日、大谷小学校体育館で開催されました。町内の小学生が一堂に会して「音楽」と「演劇」を毎年交互に観賞しています。今年は「演劇」にあたる年で、劇団ポプラ(東京)によるミュージカル劇「とべないホタル」が上演されました。

舞台いっぱいに繰り広げられる汗びっしょりの演技と、めまぐるしく変化する光と音を肌に感じながら、子どもたちは食い入るように観賞していました。

最後に感謝を込めて、大谷小6年の桑原幸穂さん(栗木沢)から特産品のワインと、同校1年の志藤楓さん(大谷一)から花束が、劇団のみなさんに贈られたほか、「これからも全国の小学生たちの心に栄養を与えてください」と和合小6年の峯田佳明君(沼向)がお礼の言葉を述べました。

⑫大場満郎・冒険学校



歩くぞ！ 笹谷街道50キロ

笹谷街道50キロの道のりを冒険家「大場満郎さん」と歩き通すテレビ番組で、大谷小5年の遠藤知佳さん（真中）がみごと完歩する映像が放映されました。

参加したのは、県内の小中学生12人（男子6人女子6人）。50キロという想像もできない距離を歩くのは知佳さんにとっても初めての経験。ゴールがまだまだ先の地点で小雨が降ってきた時は、「まだか！、まだか！」と心に言い聞かせながら歩き続けたということです。

「友達がたくさんできました。長い距離だったけど、ゴールした時はあっという間に終わってしまったという感じ」と話してくれました。

⑪エコ・ワークショップあさひまちの宝紀行



雨乞い地蔵と大沼浮島の神秘

朝日町エコミュージアム協会主催による「第4回あさひまち宝紀行」が、9月27日に開催されました。今回は、案内人の会の白田隆さん（大沼）から、大沼浮島や稻荷神社を案内してもらい、白田さんの家で代々守られている「雨乞い地蔵」を拝見しました。

雨乞い地蔵の不思議な力は「浮島物語り」でも紹介されています。昔から日照りが続くと村人達が沼の畔に集まり、地蔵様をみんなでかついで沼の中に放り込み雨乞いをすると、一週間以内には必ず雨が降ったと言われています。今では雨乞い神事も行われなくなり、地蔵様は白田さんのお宅に祀られていますが、神事の際に片手が取れてしまうなど、村人達のために働いて下さった面影を残しながら、やさしく上品なお顔で今も、地区の人たちを見守ってくださっています。

⑬新品種のりんご「shinanoすい～と」もぎとり現地交流会

爽やかでジューシーな歯ざわりをお楽しみください



心ない一部の生産者の行為が発端となった昨年の農薬問題。消費者のみなさんから再度信頼を得るため、

必死の努力でこの難局を乗り越えてきた生産者のみなさん。この思いを消費者に伝えるため、りんごの新品種「shinanoすい～と」もぎとり現地交流会が10月6日、遠藤邦昭さん（舟渡）のりんご園で開催されました。

鮮やかなピンク系の天然色、爽やかでジューシーな歯ざわりは、みんなを幸せにさせる、そんなりんごです。

当日は、わかば保育園児や消費者団体を代表する連合婦人会も参加。試食の際、あえて水洗いしないりんごを皮ごと食していただいた背景には、安全安心に絶対の自信を持つ生産者の真心がこもっていました。

主力品種として、町内では「フルーツシャワー、りんご温泉、J Aあぐり朝日店」で購入可能。「すい～とください！」とご注文くださいね。

⑭各種大会の成績

■第22回朝日町民グラウンド・ゴルフ大会

9月14日(日)西部公民館周辺芝生広場

△小学生の部①高橋拓也(常盤)、②阿部友樹(常盤)、③長岡真也(常盤)△男子の部①長岡啓治(常盤)【総合優勝】、②村山昭栄(太郎一)、③大津正一(立木)、④松本則雄(常盤)、⑤稻村重雄(夏草)、⑥阿部光一(常盤)△女子の部①鈴木みよ(西町)、②若松久子(西町)、③長岡恒子(大町)、

④樋口かつよ(西町)、⑤志藤アヤ子(前田沢)、⑥長岡千春(太郎一)

■平成15年度西村山中学校新人総合体育大会

9月27日(土)～28日(日)

▼優勝△柔道／五十嵐愛(女子個人52kg級)、阿部香奈(女子個人70kg級)△剣道／男子団体、女子団体、村山仁(男子個人)、遠藤亜美(女子個人)▼2位△バスケットボール／男子△柔道／女子団体、

堀祐樹(男子個人48kg級)△剣道／五十嵐利佳(女子個人)▼3位△卓球／男子団体△柔道／伊藤仁(男子個人48kg級)、石井亞弥(女子個人44kg級)、白田沙織(女子個人44kg級)△剣道／岡崎観彩樹(男子個人)、堀愛美(女子個人)△野球／男子

■第19回朝日町高齢者ゲートボール大会

9月30日(火)大谷地区運動広場

①新宿 ②助ノ巻 ③前田沢



みんなのひろば



今・輝いて

サンリッチフレッシュオレンジ

ひまわり栽培

鈴木 希さん(助ノ巻)



花言葉は「元気」。なんか元気になれそうです。

県立農業大学校園芸科で「花卉」を専攻 今年四月から元気いっぱいのひまわりを育てています

小さい頃からお花屋さんになるのが夢でした。高校、大学と迷わず園芸科に進み、夢は実現へと近づいていきました。

しかし、いつの間にか、きれいな花を売るところから栽培することに興味が変わり、土を耕して種を蒔き、芽が出て花が咲くまで、大切に育っていくことに喜びを感じるようになりました。

大学の卒業論文では、亡き祖母が老体を押して花を育てるのを唯一の楽しみにしていたことをきっかけに、老人や体に障害を持った人に対しての園芸療法について考察し、県の代表として農業大学の論文発表東北大会に出場しました。朝日町にもどり、夏の遊休農地利用と

して父が栽培していたひまわりを、私が引き継ぐことになりました。四月に種を蒔き、六月の下旬に自分で育てた花が咲いたときの感動は、忘れることができません。ハウスの中の一万本のひまわりは、つぼみになると順に市場に出荷します。戻ってこないでと祈りながら…。

水を掛け過ぎて枯れてしまったり、花を咲かせる調整がうまくいかず、一気に出荷しなければならなくなり、家族総出で大わらわした日もありました。

これからは、種類も増やし、もっと勉強して、みなさんから喜んでもらえるような元気なひまわりをたくさん育てたい思います。



出荷を前に一本一本丁寧にチェック

となりのトトロさん

作・ホリイ (155)



小原

熊谷忍さん



となりのトトロさん

小、中、高とバスケットボールに打ち込んだ忍さん。今は、地元のスポーツ少年団で熱血指導者として活躍中。歩さんも中学時代はバスケットボール部でした。お互い、友達から誘われ、寒河江の社会人チームの練習に参加するため体育館へ。そこで二人は出会います。

付き合い始めて間もなく、忍さんがアキレス腱を切り入院。歩さんは仕事の合間に何度も病院に通ったそうです。退院してからは、仕事が不規則な歩さんに忍さんが時間を合わせてデートを重ねました。

「ケンカはよくするし、性格も趣味も違う。唯一同じなのが子ども好きなところかな。」と歩さん。忍さんも「子どもは最低でも3人！」と話してくれました。

軽快なドリブルと絶妙なパスを交わしながら、二人の理想である「笑顔の絶えない家庭」を目指してください。どうぞお幸せに…。

今月の新刊

おすすめ本！ 「武家用心集」



百万回の言い訳
唯川 恵著
「解体新書」はプロジェクトXだ!
「風姿花伝」は人生の指南書だ!
時を経てもなおこんなに面白い古典の数々。
浮世の身すぎに悩んだら、古典が答えを教えてくれる! 全く新しい古典ガイド。
結婚七年、夫婦仲は悪くない。だけ
ど何かが足りない気がするー。わたしたちどうして別れないのだろう。
恋をして、夫婦の意味を再び問う
て、恋をして、夫婦の意味を再び問う

▼女政大変(出井根義) ▼殺人の門(東野圭吾) ▼ひさしぶりにさようなら(大道勝貴)
▼ジャンピング・ベイビー(野中 栄) ▼スピログラフ(鈴木清剛) ▼略落まで34分ー9. 11 USA93便ー(ジェレ・ロングマン) ▼池袋ウエストゲートパーク(石田衣良) ▼ユウキ(伊藤 遊) ▼ローワンと白い魔物(エミリー・ロッダ) ▼ねないこだれだ(せぬれいこ) ▼国旗の本(菅原のニューアージュ(松岡圭祐) ▼しゃばけ(富田 恵) ▼三日月少年の秘密(長野まゆみ) ▼明治ちぎれ雲(平山壽三郎) ▼トゲトゲの気持(阿川佐和子) ▼光って見えるもの、あれは(川上弘美) ▼黒く塗れ(綾瀬真伊三次捕物余話)(宇津佐真理) ▼まひるの月を追いかけて(恩田陸) ▼ヨリックの宴会(五條 瑠) ▼生徒最高の失敗(田中耕一) ▼なぜオオオオは戦争をしているのか(ノーマン・マイラー) ▼人間の心と法(河合隼雄) ▼異形の城(東 秀紀) ▼ドングリと木のみのこうさく(竹井史郎)

武家用心集
乙川 優三郎著
浮世道場

半右衛門が釣りを嗜むようになったのは、八年前ある事件に巻き込まれた時。釣りに興味があつたわけではなく、人ととの接触をさけるためだった・・・。

愛ではない。堕落でもない。あの女からもうひとつの世界を知った、それだけ。底辺を這はずる女と高校教師。血を流し、墮ちた果てに・・・。身の内に潜む「悪」を描ききつた驚愕・衝撃の問題作。第129回芥川賞受賞作。

ハリガネムシ

吉村 万喜 著

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、提案みなさんの周りでの出来事や話題、日ごろ感じていること、イラスト、質問などお待ちしています。

- あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場企画課 企画広報係
(電話：67-2112 フックス：67-2117)
- Eメール／kikaku@town.asahi.yamagata.jp
- ホームページ／http://www.town.asahi.yamagata.jp

町民の声

子育てしやすい 環境の整備を！

他の市町村に比べて、子どもを育てる環境が悪い（例えば、予防接種を受けるのに負担金を支払わなければならないこと）と思います。次代を担うこれから の子どもたちのことも考えた施策をお願いします。

(匿名)

子 育て支援対策については、子育て支援センター事業や ファミリー・サポート・センター事業など、積極的に取り組んでいます。また、学童保育等の実 施についても検討しているところです。少子高齢化社会が益々 進展することが予想される昨今、 町民のみなさんの声をお聞きしながら、より積極的に推進していきたいと考えています。

(健康福祉課)

愛 犬家へお願いです。犬を散歩させる際に、糞が道路上にそのままになつて、このところよく目にするようになりました。愛犬家ばかりでな

愛 犬の散歩の際は糞の始末を！

(税務町民課)

糞についての苦情は、年に数件役場に寄せられます。担当課では、その都度飼い主に指導したり、お知らせ板や町報に掲載して啓発に努めています。それでも苦情はなかなか後をたちません。

犬の糞についての苦情は、年に数件役場に寄せられます。担当課では、その都度飼い主に指導したり、お知らせ板や町報に掲載して啓発に努めています。それでも苦情はなかなか後をたちません。

犬の糞についての苦情は、年に数件役場に寄せられます。担当課では、その都度飼い主に指導したり、お知らせ板や町報に掲載して啓発に努めています。それでも苦情はなかなか後をたちません。

く最近、一般の人も健康体力づくりのために散歩する人が増えています。愛犬家のみなさん、まにしておかげ、きちんと始末しながら散歩していただくようお願いします。

(匿名希望)

ちょっと違った子ども会活動を紹介します

中沢子ども会では、この夏休みこれまでとはちょっと違った事業を行いました。7月22日から1泊2日で公民館やお寺を借りての体験学習会です。

最初は「いやだなあ」と思っていたけれど、今までやったことのない写仏や座禅をやってみて、心が穏やかになったというか、たったの2日間でしたがとてもゆっくりできたなあと感じました。

今までの子ども会だと「ただ遊んで帰る」楽しむだけという感じでしたが、今回は和尚さんを手本に、これから私たちが社会に出て行く上で最低限必要なことを学べたと思います。今まで、トイレのスリッパなんて何も気にせず脱いでいたけれど、「次の行動を考えて、次の人が使いやすいように脱ぐ」と教わり私はどうだったのか?と振り返ることができました。その他にも食事をするときのマナーや人は生かされているなど、今まで考えてもみなかつたことを考えさせられました。

はじめはいやだなあと思っていたけれど、すごく楽



しかったし、なかなか話せない人とも話せたしとてもよい体験をしました。また、座禅を組む機会があったら今回のメンバーでやりたいです。

本当に楽しかったです。ありがとうございました。

中沢子ども会 朝日中2年 堀 愛美

これは、子ども会活動のあとに生徒が書いた感想文です。初めての体験を通して自分が得たもの、これまでの自分に足りなかったものなどをしっかりと受け止めている内容となっています。



■9月1日～30日



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
栄町	石黒 光希	女	光展・友子
緑町	長岡 光希	女	友行・美穂



おしあわせに

長岡和男 柳アヘンカバアトリス緑
(太郎二) (群馬県)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
夏草	阿部とわ	一郎
四ノ沢	鈴木 勝	元
小原	菅井 清吉	健男
前田沢	今井 権三郎	賢一
松程	鈴木 よつ	秀司
大谷四	松田さくよ	さくよ
大谷六	長岡 門助	勇吉
西原	阿部三太郎	新一

掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

● 平成15年9月30日現在

人 口	9,118人(減5人)
男	4,517人(減4人)
女	4,601人(減1人)
世帯数	2,584戸(増3戸)
()内前月比	



上空の熱気球に向かって(りんごの町の秋まつり)

きょうの健康 あしたの健康

さあ、やってきました「スポーツの秋」です！皆さんには運動の習慣がありますか。

10/1～10/31は「体力つくり強調月間」。この機会に運動を始めてみてはいかがでしょうか。



運動は、栄養、休養と並んで健康づくりの3大要素の一つです。近年は、町内でもウォーキングされている方をよく見かけるようになりました。ウォーキングは特別な道具は何も必要ありません。この時期、紅葉をみながら、さわやかにウォーキングをしてみませんか。

歩数については、国の「健康日本21」という健康づくり計画の中で、目標値を次のように提示しています。

日常生活における1日あたりの歩数目標値	成人	男性	9,200歩
	(20～64歳)	女性	8,300歩
	高齢者	男性	6,700歩
	(65歳以上)	女性	5,900歩

※1,000歩の目安=時間にして約10分、距離にして600～700メートル

上記の目標値は、今よりも1日の歩数を1,000歩ほど増やすと達成できる目標となっています。日頃、全く運動をしていない人は1,000歩位歩いてみましょう。

これから運動を始めようとする方は、運動に慣れることから始めましょう。長続きのコツは、張り切って頑張りすぎず、はじめは楽にできる程度にしておくことがポイントです。

運動でどれくらいエネルギーをつかうの？(30分歩いた場合)

ゆっくり歩くと
男性 45 キロカロリー
女性 36 キロカロリー

普通に歩くと
男性 65 キロカロリー
女性 50 キロカロリー

早足で歩くと
男性 105 キロカロリー
女性 85 キロカロリー

同じ時間でも、歩き方によってこんなにも運動量が違います。1日100～300キロカロリー（個人差あり）くらいを運動で消費するのがよいとされています。ちなみに、ごはん茶碗一杯（ごはん165グラム）のエネルギーは約277キロカロリー。体に入るエネルギー（食事）と消費されるエネルギー（普通の生活や運動）のバランスを取るためにには、しっかり食べてしっかり動くことが基本ですね。くれぐれも食べ過ぎにはご注意を…。

なお、現在、朝日町でも町独自の健康づくり計画を策定中ですので、ご意見等ありましたら、是非皆様の生の声をお寄せ下さい。

健康に関するご意見やご質問は…

役場健康福祉課健康推進係 電話：67-2116まで

お詫びと訂正

9月15日発行の「広報あさひまち」8ページで、「用語の解説」の中の用語の読み方に誤りがありました。正しくは、「幼穂形成期」です。お詫びして訂正いたします。

朝日町の原風景 写真コンテスト作品 vol.7

佳作 交通安全を見守るカカシ



前田沢のいきいきクラブの皆さんのが作られたこのカカシで、朝日町が明るくなつたような気がします。私はこの場面が好きで撮影しました。

今年もたくさんのカカシが町内に並びましたが、これを機会に今後も続けていいって、カカシコンクールやカカシの写真コンテストなどが開催されるようになり、朝日町がカカシで彩られ、より明るい町になるよう願っております。

撮影者 白田和夫さん(大谷二)

春 夏 秋 冬

編集後記

ミンミン蝉が鳴いていたのです。元気よく「ミンミンミンミン」と鳴いていたので間違いなくミンミン蝉でした。Tシャツ一枚になつてしまふくなるまでにはなりませんでしたが、やはり、気候がおかしくなつている証拠なのでしょうか。道ばたでは、爽やかなそよ風にゆれるススキの穂が、子どもたちの無事な帰りを、今日も優しく見送っています。

ススキ咲き

子どもも野山も
(はやけん)
衣替え

朝晩、めつきりと寒さが厳しくなつてきました。和合の国道沿いには、たわわに実を付けた真つ赤なりんごが、秋の陽光を受けて微笑んでいるような感じさえする今日この頃です。そんな中、大暮山を舞台にあるテレビマーシャルの撮影が行われました。詳しくは、広報あさひまち11月号で紹介する予定です。思い通りの映像が撮れたとプロデューサーもご満悦の様子でした。でも一つ、気になつたことがあります。この季節に、なんと

広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。